

金型製造業について

【金型とは】

金型とは、材料に力を加えることで変形する性質（塑性）または溶けて固まる性質（流動性）を利用して、材料を希望する形状にするための、主として金属材料を用いてつくった型を総称します。

例えば、自動車のボディは金属の板にプレス金型で力を加えて製作します。携帯電話のボディなどの樹脂製品はプラスチック材料を金型に流し込み固めて出来上がります。

このように金属、プラスチック、ゴム、ガラス等の素材を、それぞれ目的とする製品の成形加工用に使用されるものが金型で、金型の品質が製品の良否（品質）を決定づけるものなのです。

さらに、同一の形状で同じ寸法の製品を大量に生産したい時には、金型を使って生産するのがもっとも安くつくることができます。もし金型を使用しないで自動車を製作しようと思ったら1台作るのに莫大な費用が掛かってしまいます。

したがって、金型はものづくりの重要なアイテムなのです。



【金型製造業で求められる人材】

ものづくりに興味がある方でしたら男性でも女性でもどなたでも大歓迎です！最近では女性の活躍も目立っています。

もちろん中途採用の方も多くいらっしゃいます。

趣味などでも凝り性の人には向いているかもしれませんね。

【金型製造業で働くことの魅力】

私たちの身の回りで使われているモノ（自動車、携帯電話、デジタルカメラ、各種家電製品、ゲーム機などなど）の全てが金型から生産されたものです。ですから自分がつくった金型から生産された新製品を店頭などで見かけると、自分がものづくりの重要な一員であることを自覚するとともに誇りをもつことができます。

また、金型製造業は職人っぽい印象もありますが、実は最新技術を視野に入れ最新鋭機を駆使したニュータイプの職人チームとして、日本のものづくり、世界のものづくりを支えています。

【若手従業員の声】

全く同じ形の金型は存在せず、それぞれの金型に合った技術が必要とされるため、とても奥が深く、やりがいのある仕事だと思います。職場の雰囲気もとても良く、わからない事などを先輩や上司から、丁寧かつ親身に指導して頂いています。



株式会社宮津製作所
入社3年目
山下 陽平

【金型製造業の主なキャリアプラン】

金型製造業は、基本的には一品オーダーメイド品づくりなので、その作業方法などはマニュアル化が難しいことから、一般的には各社の徹底したOJT、各社独自の社内研修などを中心としてキャリアアップを目指すこととなります。

その他、金型設計・加工データ作成のためのCAD/CAM、あるいは各種工作機械の技術習得には各メーカーの研修制度を導入しています。